

市議会だより Obanazawa

126

令和7年9月1日発行

あいさつで尾中を元気に! そして おばねに 活力を



尾花沢中学校 あいさつかがやき隊

contents

- 6月定例会…………… 2
- 一般質問…………… 5
- 新体制スタート……………12
- 議員定数アンケート…14

Obanazawa City Council NEWS

特集

尾花沢中学校 “あいさつかがやき隊”

今年で7年目の取り組み!“あいさつかがやき隊”は、平成31年度に結成されて、今年で7年目を迎えました。現在は約150名の生徒が活躍しています。取材に伺ったところ、笑顔あふれる元気なあいさつでとても素敵な光景でした。子どもも大人も、元気なあいさつや笑顔があふれることで、尾花沢市にさらなる活力が生まれてくると思います。これからも皆さんの活躍を期待します!!



おはようございます!



シン・バッジ完成!

活動中に付けるバッジについて、生徒会がデザインを募集したところ、たくさんの応募の中から笹原幸華さんのデザインが選ばれました。朝をイメージした水色の背景に、ジャージの色をイメージした文字のシン・バッジが完成しました。

隊員を代表して齊藤慶さんが生徒会長の大類鳳馬さんより、バッジを受け取りました。7月1日より、シン・バッジをつけてあいさつ運動に取り組んでいます。

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長	発行責任者
高橋	菅藤	和田	鈴木	伊藤	畑中	土屋	菅野	
隆雄	昌己	哲	清	浩	和恵	範晃	修一	

2年間の任期を終え、現メンバーで発行する最後の議会だよりとなりました。議会の取り組みをお伝えすべく、7名の委員一同、定例会が終わるたびに、多くの時間を投入して発行を続けてきました。小・中学校の統合が予定されている中で、“各学校の取り組みを記録に残したい”との思いから、これまで学校に関する特集記事を作成し、今回の尾花沢中学校の記事で締めくくりにとなります。“言葉は人柄を表す鏡”とも言われています。尾花沢市は、明るいあいさつや前向きな言葉があふれる地域であってほしいです。皆さんの応援する議員がどんな言葉を発しているのか、ぜひ記事をご覧ください。ご意見いただければと思います。今後とも議会だよりをよろしくお願いいたします。(土屋 範晃)

あ
と
が
き

農畜産業振興に大きく支援

旧パレットスクエア跡地購入、新町 中央付近火災の復興支援

●令和7年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ5億1,260万5千円を追加し、歳入歳出予算を総額170億8,760万5千円とする。

●令和6年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ2億4,302万4千円を減額し、歳入歳出予算を総額170億3,292万6千円とする。

●令和6年度の国民健康保険特別会計補正予算は中央診療所施設勘定の歳入歳出予算の総額からそれぞれ34万1千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億8,967万9千円とする。

令和6年度 一般会計補正予算 歳出の主なもの ※千円以下切捨

歳 出		
科 目	名 称	金 額
財政管理費	減債基金積立金	1億5,000万円
	公共施設整備等基金積立金	1億円
ふるさと納税基金事業費	「雪とスイカと花笠のまち」ふるさと尾花沢応援基金事業	▲ 9,456万円
社会福祉総務費	低所得世帯物価高騰対策給付金事業 <地方創生臨時交付金事業>	▲ 320万円
予防費	新型コロナウイルスワクチン定期接種事業	▲ 1,188万円
水田農業構造改革対策費	畑地化促進事業	▲ 1,703万円
林業振興費	森林環境譲与税基金事業	▲ 168万円
道路新設改良費	道路新設改良事業(単独)	▲ 1,050万円
橋梁維持費	橋梁改修・補修工事	▲ 7,000万円
学校管理費(小学校)	スクールバス購入事業	254万円
学校管理費(中学校)	スクールバス購入事業	127万円
公共土木施設災害復旧費	公共土木施設災害復旧事業(補助)	▲ 1億2,264万円

令和6年度 国民健康保険特別会計補正予算 ※千円以下切捨

歳 出		
科 目	名 称	金 額
<中央診療所施設勘定> 利子	利 子	▲ 34万円

※1 専決処分
「専決処分」とは、本来は、議会が議決しなければならないことを、時間的に議会の招集を待てない緊急な場合などに、行政運営の遅れや滞りを防ぐため、例外的に長(市長)が議会の議決に代わり事後承認を条件として意思決定すること。

※2 土地開発基金
「土地開発基金」とは、公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地を、あらかじめ取得する資金に充てることを目的に設置している基金のこと。

令和7年度 一般会計補正予算 歳出の主なもの ※千円以下切捨

歳 出		
科 目	名 称	金 額
専決処分 ※1 常備消防費	常備消防費	150万円
企画調整費	定額減税不足額給付事業(事務費分) <地方創生臨時交付金事業>	250万円
農業振興費	園芸やまがた産地発展サポート事業	1,018万円
	農地利用効率化等支援事業	512万円
観 光 費	持続可能な観光地域づくり事業	8,328万円
社会教育総務費	少年少女俳句大会事業	210万円
財産管理費	土地開発基金 ※2 (旧パレットスクエア跡地購入費)	1億7,500万円
防災対策費	新町中央付近火災撤去工事(Ⅱ期)	8,100万円
畜 産 業 費	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業	1億2,329万円
	畜産生産持続強化支援事業	732万円
商工業振興費	おばねくらし応援券発行事業 <地方創生臨時交付金事業>	404万円
予 備 費	予備費	1,000万円

定例会のあらまし

令和7年6月定例会は、6月17日から6月26日までの10日間の会期で開かれました。
一般質問は、9人の議員が行い、令和6年度一般会計補正予算の専決処分2件、令和6年度国民健康保険特別会計補正予算の専決処分1件、条例の一部改正1件、条例の一部改正の専決処分2件、契約の締結1件、訴えの提起1件を原案通り可決・承認しました。また、請願1件は不採択とし閉会しました。

よりよい尾花沢市を目指して！

9人の議員は

こう質問^{ただ}した！

令和7年6月定例会 一般質問

※青文字タイトルが掲載

鈴木由美子	1 市民が誇れる花笠踊りに 2 徳良湖周辺の整備 3 移動市役所の活用 ④ 大火発生による今後の課題と対応策	土屋範晃	① 老人クラブ 2 町内会活動
伊藤浩	① 尾花沢市の農業政策 2 今年度の一般会計予算	高橋隆雄	① 人口減少対策
青野隆一	1 ふるさと振興公社にかかる指定管理制度 2 スクールバス ③ 新町中央商店街の大規模火災への対応	鈴木清	1 放射線の測定 ② 米価高騰への支援策 3 訪問介護への支援
和田哲	① 防災・減災のまちづくり (消防・防災)	菅藤昌己	① 国民健康保険特別会計 2 定住施策のありかた 3 引きこもり、閉じこもり対策
安井一義	1 旧パレットスクエア跡地の進捗状況 ② 高齢者の支援対策をどう進めるのか 3 自主防災会等の連携		

質問議員が責任を持って
原稿を作成しています。

令和7年 請願 第2号

オブザーバーとして締約国会議に参加を

不採択

請願者	北村山地区平和センター 議長 橋本 久 憲法と女性の人権を考える会 呼びかけ人 菅野 真治
紹介議員	伊藤 浩 鈴木由美子 鈴木 清
請願の内容	「核兵器禁止条約の実効性を高めるため主導的役割を果たすことを求める」意見書の提出に関する請願 1. 唯一の戦争被爆国として一日も早く核兵器禁止条約の署名・批准を行い、それまでの間は、オブザーバーとして締約国会議に参加すること。
審査結果	総務文教常任委員会 賛成少数で不採択(賛成2、反対4) 本会議 賛成少数で不採択(以下のとおり)

賛否状況 (○…賛成、×…反対)

青野隆一	伊藤浩	鈴木由美子	土屋範晃	鈴木清	菅藤昌己	畑中和恵	高橋隆雄	安井一義	菅野喜昭	和田哲	星川薫	大類好彦	菅野修一
○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	議長

お詫びとお取替え



前号の市議会だより125号15ページにおいて、印刷が不鮮明な箇所がありましたので、お詫び申し上げます。

お取替えを希望する方は、議会事務局(市役所3階)までご連絡ください。(22-3755)

表彰

【表彰】
全国市議会議長会
(第101回定期総会において)
◎正副議長表彰4年以上
菅野修一 議員

【感謝状】
社会文教委員会 委員
尾花沢市議会
菅野修一 議長

問 土地改良区との災害協定は
答 農業用水なので難しい

問 焼け跡の瓦礫撤去に対し感謝したい。一方焼失には至らないが、延焼防止の放水を受けた住宅への支援策は。

答 全焼された方々と同様で、引き続き支援させていただく。

問 消火栓・防火水槽及びホースの点検や確認

答 区長や自主防災組織の皆様と連携し取り組む。

問 緊急時の水確保のための行動マニュアルは。対策は。

答 関係機関と連携を密にする。今般迅速な通水のため、消防指令センターから直接土地

災害案内ダイヤルの問い合わせ番号が変更になりました。

災害発生案内ダイヤルのご案内

050-5830-7171

改良区の作業者に連絡が届くよう体制の強化に取り組んだ。

問 新町地区消防団の再編が急務。どう再編していくのか。

答 少人数ではあるが再結成に向け調整中の情報がある。

問 住宅密集地区に雪押し場としての活用を見据えた「火除け地」を確保しては。

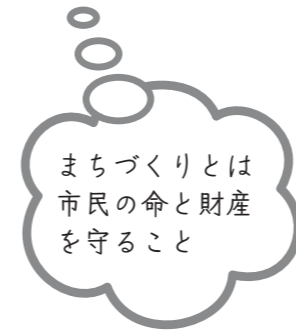
答 尾花沢市立地適正化計画に防火帯の考えは無かった。この度の火災を教訓とし整理が必要と考えている。

「火除け地の説明」
※江戸時代「明庵のめいれき」の大火をきっかけに、時の幕府が設置した防火用の空き地。現代では都市部や住宅密集地において、延焼を防ぐ防火帯を整備して大規模火災に備えている。



鈴木由美子議員

動画はこちら



青野 隆一議員

動画はこちら



問 火災現場に駆けつけつづけるべき
答 庁舎での陣頭指揮が重要

問 消防庁で、市町村長の最も重要なことは『駆けつける』こととされているがいかがお考えか。

答 避難指示や自衛隊の要請など、庁舎の災害対策本部で陣頭指揮を執ることが重要である。15時16分に鎮火報告を受け現場を確認し、避難所で被災者のお見舞いをした。

問 消火活動に必要な十分な水源の確保が必要ではないか。

答 防火水槽を毎年2基新設する計画だが、特に中心市街地につい



瓦礫の撤去が完了した現場

ては早期に整備を進めたい。

問 火災現場の街路灯3基が使用できなくなった。市の支援が必要ではないか。

答 瓦礫の撤去と同じように、支援できるよう検討する。

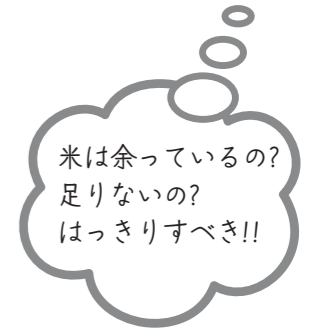
問 寺内地区では、消火栓や防火水槽の位置が明記された「寺内地区防災マップ」が全戸配布されている。全市全域で取り組んではどうか。

答 地域の防災力強化に向け、自主防災組織ごとの作成を進めたい。



伊藤 浩議員

動画はこちら



問 水稻作付面積の概要は

答 昨年比で171haの増となった

問 令和9年からの水田活用直接支払い交付金の見直しが発表される中、本年度の水田営農計画が見えてきた。物流異常により食料米の小売価格が高騰し、農家の皆さんも心配しているが畑地化促進事

答 今年度の水稻作付面積の目安は、58ha増の2千349haが示された。これを受け、市としても農家に対して、作付



畑地化された水田

業も含めて、尾花沢市としてこれからの農業政策をどうフォローしていくのか。

答 今年度の水稻作付面積の目安は、58ha増の2千349haが示された。これを受け、市としても農家に対して、作付け面積を増やした配分を行い、目標値の面積にすべくフォローした結果、過去5年間では最大の計画面積となる2千272haとなった。昨年以降の売り渡し価格の高騰で生産意欲が向上した事も背景と考える。また今年で3年目となる畑地化促進事業は、申し込みの累計面積で500haを超える規模となった。この事業は5年間の限定期間とされており、事業終了後に耕作放棄地が増化する心配もあるが、国の新しい施策や動向を注視しながら、農地をどう守っていくのか、地域全体で話し合ってきたい。

問 消防団活動に水分の支援を

答 今後の対策を強化したい

問 これまで発生した火災の現場では、消火活動が近年の異常な暑さの中で長時間にわたるときもあった。私も消防団として出動した際に、現場の状況によっては、消火活動中の暑さや水分補給に苦しむ団員の姿を目の当たりにしたときもあった。

答 現場における熱中症対策としても、どうにか消火にあたる消防団員への水分補給等の後方支援を検討できないか。

答 しっかりと水分補給できる体制が不可欠だ。どのような支援ができるかを検討し、今後の対策を強化したい。

問 消防団活動の充実に向けた取り組み状況はどうか。



訓練を重ねる消防団 (7月6日 防災訓練の様子)

答 団員数は、処遇改善や行事の見直しによる負担軽減に努めているが、年々減少している。また、平日の日中は団員が仕事の都合で不在になる場合もあるため、機能別消防団の協力は必須の状況だ。そのため、使いやすい装備の配備や訓練等についても検討していきたい。



和田 哲議員

動画はこちら



問 高齢者支援対策の進め方は

答 地域で支え合う体制構築で

問 地域福祉計画の中間年の本年、達成する方策について、高齢者でも働く意欲のある方への支援や、働けない方々への対策は。

答 第7次総合振興計画では「地域に集う全ての人が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域



お茶飲みしながら血圧・体温測定真っ最中

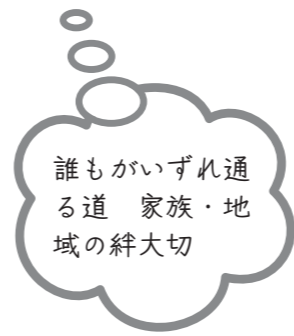
づくりを支援する」ために様々な公民館事業や社会福祉協議会で地域住民の交流の場づくりを進めている。顔見知りの関係を作ることができるよう、高齢者、障がい者、子どもなど人と人がつながり合える場や機会を進める。地域づくりを自らの課題となるよう啓発を行う。住民同士が

異なる世代や立場を認め、世代を問わず自分事とし活動を増やしていく。高齢者の「お茶のみサロン」は55集落36団体で13回開催され地域協力者とボランティア137名、参加者21名、延べ2076名の利用があった。同様の高齢者以外の参加する事業も進めたい。



安井 一義議員

動画はこちら



高橋 隆雄議員

動画はこちら



問 人口減少問題について

答 持続的な発展への重要課題

問 婚活支援だけでなく、若い世代が集まる企画を考えるべきでは。

答 同じ趣味を持つ方の「オシカツ」イベントなどへの後押しを考へ、婚活事業とコラボできないか検討する。

問 移住定住者を増やすことも必要では。

答 新規就農者確保対策事業等、本市にある競争力の高い資源を生かした施策を推進し、安定的で成長力のある魅力ある尾花沢市とな

れるよう一歩ずつ確実に歩むことが重要と考へる。

問 若い職員のアイデアを聞いてみては。

答 若者の定着に繋がるとような有効な使途について、若い職員のアイデアを活かす取り組みをぜひ検討していきたい。

問 地域おこし協力隊の活動業務内容要件を緩和しより多くの隊員を募集すべきでは。

答 必要な応募要件はあるが、今年度より活動内容を指定しない企画提案型（フリーミツション）での募集を追加し、広く募集していく。

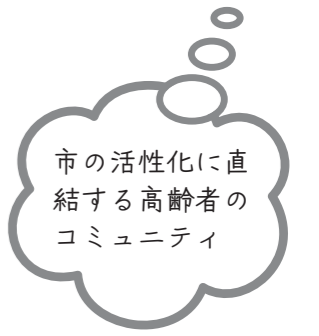


出合いは色んなかたちがある



土屋 範晃議員

動画はこちら



問 老人クラブ活性化の展望は

答 今後も支援事業を継続する

問 老人クラブ数や会員数は減少傾向にある。その要因は。

答 人口減少のほか、代表や事務局を担う方が確保できないといった要因がある。

問 代表や事務局の方が補助金の申請書類を

答 届いている。年度ごとに書類の色を変えたり、前年度の書類の写しを送付するなどの対応をしている。

表1. 老人クラブ数と会員数の推移

年度	クラブ数	会員数
令和元年度	33	1,160人
令和2年度	32	1,095人
令和3年度	31	1,135人
令和4年度	31	1,072人
令和5年度	27	903人
令和6年度	25	841人
令和7年度	24	837人

問 現在の申請書は、活動内容や事業費を6つの区分に分けて記載する必要があるため、手間が多く、記入誤りが起きやすい。活動内容を分類せずに時系列で記入できたり、捨印欄などを設けて、修正のために来庁しなくてもよくなるような改良をしてはどうか。

答 より簡単に記載できるように努めていく。

問 活動の見守りや申請のサポートができる専門職員を配置してはどうか。

答 現在考えていない。福祉課や地区公民館で丁寧にサポートしたい。

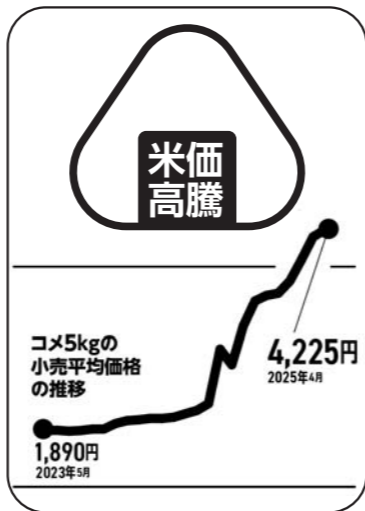
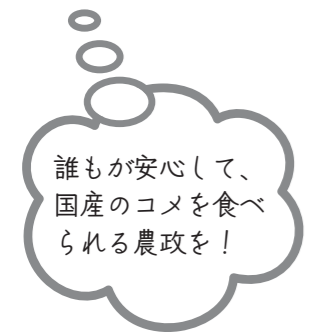
問 米価高騰！支援策は？

答 市民のニーズ把握に努めたい



鈴木 清議員

動画はこちら



29%になっている。米価高騰により、本市の学校給食にどんな影響が出ているか。食べ盛りの子どもたちに、市独自の子育て応援米を支給してはどうか。

答 今年度から学校給食費を完全無償化とし、食材の価格上昇が長期化してきたため、給食にかかる経費を20%増額した。（小学校は200円から350円に、中学校

今後も米飯給食の回数を減らしたり、食材の質や量の低下を招かないよう、栄養のバランスの取れた安全・安心な給食を提供していきたい。

令和7年6月定例会 議案一覧

議案番号	審議した議案等	審議結果
承第1号	令和6年度尾花沢市一般会計補正予算(第14号)の専決処分の承認	承認 (全会一致)
承第2号	令和6年度尾花沢市一般会計補正予算(第15号)の専決処分の承認	
承第3号	令和6年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(第6号)の専決処分の承認	
承第4号	尾花沢市税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認	
承第5号	尾花沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認	
承第6号	令和7年度尾花沢市一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認	
議第25号	令和7年度尾花沢市一般会計補正予算(第2号)	可決 (全会一致)
議第26号	除雪ドーザ(14トン級)購入契約の締結	
議第27号	令和7年度尾花沢市一般会計補正予算(第3号)	
議第28号	尾花沢市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	
議第29号	訴えの提起	

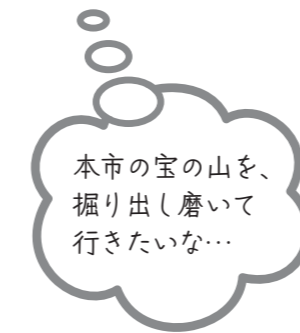
問 国民健康保険税の引き下げの実施を

答 安心して医療を受けていただく観点から、財源確保と合わせて十分検討する



菅藤 昌己議員

動画はこちら



問 マイナンバーカードの発行率とマイナ保険の登録率は如何か。国民健康保険基金の額と繰越金を合わせていくらかあるか。物価高騰のおり、家計が厳しいとの声を聞く。加入者の負担感、重税感がある。今後の基金額の推移と分析を行い国民健

答 令和7年5月末時点で、マイナカードの発行率は、96・61%。国民健康保険被保険者によるマイナ保険証登録率は、80・5%となっている。基金の額は、令和7年3月末現在、3億8千5百万円を積み立てている。また、歳入歳出差引額が、6

千6百万円ある。合わせて4億5千万ある。所得割8・5%、均等割26・900円、平等割、世帯当たり26,000円を合計した賦課方式をとっている。国民健康保険運営協議会にて協議をしていくこととなるが、運営状況や財政状況について精密な分析を行い検討したい。



マイナンバーカードがより便利に

傍聴された方の人数

日付	会議名	人数
6月18日	総務文教常任委員会	7人
6月23日	本会議	14人
6月24日	本会議	4人
合計		25人

来てよかった。知りたいこともあり、緊張の中で話を聴くことができた。提案箱を議場内に設置してはどうか。

傍聴者の声



質問、応答ともに変わりつつあるように思えた。再質問もわかりやすい。一人当たりの数値もわかりやすい。原則論と具体例はセットで回答してほしい。

町村はありましたが、他市ははじめてでした。議場の配置、発言の流れなど違う部分もあり、傍聴出来てよかった。

市長答弁が丁寧と思いましたが、思いがある分長く、コンパクトにしてほしい。

全会一致で可決

7月臨時会
7月10日(木)

よりよい街へ
旧パレットスクエア跡地の購入
契約締結!!

契約方法 **随意契約**

契約金額 **1億7,500万円**

面積：**1万2,213 m²**

新たな議会体制がスタートします!

総務文教常任委員会

◎は委員長 ○は副委員長



◎高橋隆雄 ○土屋範晃 青野 隆一 鈴木 清 星川 薫 和田 哲 畑中 和恵

産業厚生常任委員会



◎菅野喜昭 ○菅藤昌己 菅野 修一 大類 好彦 伊藤 浩 鈴木由美子 安井 一義

議会運営委員会	◎星川 薫 ○畑中 和恵 青野 隆一 伊藤 浩 菅藤 昌己 高橋 隆雄	
尾花沢市 都市計画審議会委員	鈴木 清 星川 薫 菅藤 昌己 高橋 隆雄 畑中 和恵	
議会だより編集委員会	◎安井 一義 ○鈴木 清 伊藤 浩 菅野 喜昭 菅藤 昌己 畑中 和恵 土屋 範晃	
広報広聴委員会	◎青野 隆一 ○大類 好彦 菅野 修一 星川 薫 和田 哲 鈴木由美子 高橋 隆雄	
広域 組合 議会	尾花沢市大石田町環境 衛生事業組合議会議員	青野 隆一 星川 薫 鈴木由美子 高橋 隆雄 菅藤 昌己
	北村山広域行政事務 組合議会議員	安井 一義 畑中 和恵 土屋 範晃
	北村山公立病院組合 議会議員	菅野 修一 菅野 喜昭
森林・林業・林産業活性化 推進尾花沢市議会議員連盟 役員会	菅野 修一(会長) 和田 哲(副会長) 伊藤 浩 鈴木 清 安井 一義 菅藤 昌己 高橋 隆雄 畑中 和恵 土屋 範晃	

歳出の主なもの	
(総務費) 定額減税不足額給付事業	7,000万円
(総務費) 令和6年7月大雨による被災者生活再建支援金	300万円
(土木費) 緊急自然災害防止対策事業	1億円

臨時会のあらまし
8月7日臨時会を開き、正副議長選挙を行い、議長に菅野修一議員、副議長に和田哲議員を選出。
一般会計補正予算1億7千600万円を追加し、総額を172億6千360万5千円とした。簡易水道事業会計補正予算750万円を追加し、資本的収支支出総額を1億7338万1千円とした。

議会人事決まる

議長



議長
菅野 修一

市民の皆様、こんにちは。この度、尾花沢市議会中間改選において、三たび議長を担うこととなりました菅野修一です。その職責の重大さを痛感し、一層身の引き締まる思いで一杯です。これから本市は「統合小学校建設事

業」そして、尾花沢市と大石田町で運営する「ゴミ処理施設建設事業」さらに、北村山3市1町で経営する「北村山公立病院の新築」と大事業が続くことになっていきます。加えて、新町中央商店街の復興及び、旧パレットスクエア跡地の新たな街づくり等、次々と畳み掛けてきます。議会は、市民参加を推進しながら、将来に禍根無き行政となりますようにしっかりと職務を果たしていきます。

副議長



副議長
和田 哲

この度、副議長の職を仰せつかりました和田哲です。何よりも市民の皆様のために、そして議会が担う重要な役割を果たすために、議長をし

っかりとサポートできるよう努めてまいります。そのためには、議会の組織の安定とともに、議員同士の意見を尊重するなど、「尾花沢市議会らしい論と輪」を大切にしたいと思っています。私自身、さまざま至らない点がありますが、副議長の役割を全うできるよう素直に励んでまいります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

議員定数に関する市民アンケート

本アンケートは、今後の議員定数に関する議論の参考とさせていただくものです。
最もふさわしい回答1つに○をつけてください。(Q4・Q8は文字を記入してください。)

Q1. 市議会議員の活動について、どのような印象を持っていますか？

1. 頑張っていると思う
2. 可もなく不可もない
3. 頑張りが足りないと思う
4. わからない

Q2. あなたは、市議会議員の定数について、どのように考えていますか？

(いずれか一つお選びください)

1. 増やすべき
2. 現状維持
3. 減らすべき
4. わからない

Q3. Q2の回答で最も重視した項目は何ですか？

1. 市民の声の届きやすさや多様性の反映
2. 行政に関する監視機能の強化
3. 議会運営に係る経費の削減
4. 意思決定のスピードアップ・運営の効率化
5. わからない

Q4. あなたが思う適正な議員定数は何名か、またその理由は何ですか。(現在の定数が14名)

適性と思う議員定数()名 その理由は()

Q5. あなたの性別を教えてください。

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 回答しない

Q6. あなたの年齢を教えてください。

1. 10代
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80代以上
9. 回答しない

Q7. お住まいの地区を教えてください。

1. 本町地区
2. 福原地区
3. 宮沢地区
4. 玉野地区
5. 常盤地区
6. 回答しない

Q8. 議員定数に関して、その他ご意見やご要望があれば自由にご記入ください。

【ご協力ありがとうございました】

お問い合わせ／尾花沢市議会事務局 電話番号：0237-22-3755

市民の皆様へ

議員定数についてご意見をお聞かせください

なぜ今、議員定数について議論されているのか？

市民の皆様より、議員定数に関する様々なご意見をいただいております。これを受けて、現在議員の定数について議会で議論を進めています。この議論は、より効率的で、市民の皆様の意見がより反映されやすい議会運営を目指すための重要な一歩と考えております。

少子高齢化の進行や人口減少、行政のスリム化といった現代社会の大きな変化があり、限られた財源の中で、市民サービスの維持・向上を図りながら、議会がその役割を最大限に果たすためにはどうすべきか、多角的な視点から検討する必要があります。そこで、市民の皆様のご意見を伺い、議論の参考とするため、この度アンケートを実施することとなりました。

主な論点

現在14人の議員定数を増やすことや減らすことには、以下のようなメリットとデメリットが考えられます。皆様からのご意見をいただく上で、これらの点を考慮いただければ幸いです。

議員定数	増やした場合	現状維持	減らした場合
市民の声の届きやすさや多様性の反映	○	—	×
行政に対する監視機能の強化	○	—	×
議会運営に係る経費の削減	×	—	○
意思決定のスピードアップ・運営の効率化	×	—	○

※○…推進、×…後退、—…現状維持

市民アンケートにご協力ください

これらの論点を踏まえ、市民の皆様が考える「あるべき議会の姿」について、ぜひご意見をお聞かせください。皆様からの貴重なご意見は、今後の議員定数に関する議論を進める上で、参考とさせていただきます。

アンケート募集期間

令和7年9月1日(月)～令和7年9月30日(火)

アンケートの提出方法

左面アンケートを市役所1階市民ホール、市役所3階議会事務局、各公民館に設置の回収箱にご投函、または右のQRコードからも回答できます。
皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

